

# Fuji Sankei Business

11 | 8 [水]

一部100円

月ぎめ3150円

DNP

大日本印刷



**のりづき・まさき** 1988年武蔵野美術大学工芸工業デザイン科卒。昨年結婚したばかり。来春にはデザイン会社を清算し、タイ人の妻も呼び寄せて日本人の経営に専念。葬儀会社などの代理店を全国に増やす。

「大切な遺骨や遺灰を扱うだけに信頼が何よりも大切」。製作過程の情報公開や保証書の発行などはその一例だ。「来月から希望のご遺族には加工現場の公開も始める」と話す。

(中山忠夫)

## 好機!

アルゴダンザ・ジャパン

法月 雅喜社長(42)

散骨葬の広がりなどで多様化する葬送スタイル。「故人をいつも身近に感じていたい」という人にピッタリなのが、遺灰を用いた記念ダイヤモンド。スイスに本拠地を置くアルゴダンザの日本人、アルゴダンザ・ジャパンは、遺灰から合成ダイヤを作るサービスを展開中だ。

「最愛の人との記憶をダイヤの中にとどめて、それがいつも身近に輝くことで心の痛手を癒やすお手伝いをしたい」

預かった遺灰は専用の容器に入れて丁寧に扱い、スイスの加工施設まで送る。そこで不純物を取り除く熱処理などを施し、ダイヤの成分となる黒鉛(炭素)を精製。さらに高温高圧処理を経て炭素が結晶したダイヤに姿を変える。

「生前の生活環境などの違いで遺灰の中の物質も組成が異なる。完成品は無色透明やブルーとさまざまな。それぞれ一人一人の個性が色味に反映される」。原料は遺灰の炭素分100%。カットや研磨を経て指輪やネックレスなども製作できる。

「まさか故郷に帰ってくるとは……」。遺灰ダイヤとの出会いが人生を大きく変えた。

武蔵野美術大卒業後、布地のデザイナー、経営コンサルタントとして海外で12年間活躍。2001年には、タイにデザイン会社を設立し、活動拠点を定めた。転機は

## 故人を身近に「遺灰ダイヤ」

- ▷ 静岡市葵区両替町2の4の15 静岡O・Nビル7階
  - ☎054・253・7130
  - ▷ 設立—2005年5月
  - ▷ 資本金—300万円
  - ▷ 売上高—約6000万円(06年6月上旬)
- グループの世界9法人で5番目の設立。製作には最低で約300円の遺灰が必要。足りな加工可能な場合も。料金は最小の0.3円で44万1000円から(輸送費など含む)。注文から半年程度で手元に届く。「アルゴダンザ」はスイス南東部の言葉で「追悼」の意。

04年9月。たまたま現地のニュースでアルゴダンザの存在を知った。「自分も死んだらこうしてほしい」と興味がわき、スイス本社ホームページをのぞいてみた。すると「パートナー募集」の告知が。「ユニークなビジネスだし、日本に紹介できるかも……」。すぐさまメールを送ると、本社から「まず日本法人を作って総代理店になること。事業計画を提出してほしい」との返事。「これは生半可じゃできない」と採算性などをリサーチし、自分なりの考えをまとめた。翌05年2月、スイスに向いて説明したところ、「市場分析が良かった」との理由で他の候補を退け、法人設立を任せられた。「高齢化する日本は70年まで死亡者数も増え続けるが、葬儀は近親者だけでひっそりと営む傾向が強まり、1件当たりの費用も減少する。その分だけ他のサービスの参入余地が大きい」

その見直しは正しかった。主にホームページを通じた告知活動にもかかわらず、開業1年で契約は100件を超えた。